

8月20日(水) 本年度第7回(通算2742回)

## クラブ創立記念アクト合同例会

担当/理事会・青少年・親睦委員会 18時30分～釧路プリンスホテル

### ◆お客様と来訪ロータリアン

菊池 吉史君、斉藤 慎也君、小甲 薫さん、安田 浩佑君、佐々木 晃平君、三原 一浩君、畠山 優那君  
草島 伸兆君、佐藤 綾君、早坂 宗剛君、菊地 真奈美君、山口 光信君、松山 澄也君、阿賀 一将君  
小野寺 亮太君、大関 光一君、小林 美穂君 (釧路北RAC)

◆出席報告【会員総数66名 免除5名 出席計算に用いた会員数66名】  
出席者 39名 出席率 60%

### ◆ニコニコ献金

- ・創立記念を祝し、入会記念を祝し。佐賀君入会おめでとう ～萩原 昭博君
- ・会長、入会記念おめでとう。佐賀君入会おめでとう ～坂入 信行君
- ・護君、入会おめでとうございます。1億円貸しておきます ～伊賀 敬司君
- ・創立記念おめでとうございます ～北川 健二君
- ・クラブ創立記念、宜しく願います ～小松 亮次君
- ・創立記念おめでとうございます ～高橋 貢君
- ・創立記念です。佐賀君入会おめでとう ～中嶋 嘉昭君
- ・先日の西クラブではお世話になりました。ありがとうございました ～平井 昌弘君
- ・お久しぶりです ～穂積 由蔵君
- ・誕生ケーキありがとうございます ～本間 弘人君

### ◆会長挨拶

皆様今晚は、先ほど終身会員の議案につきまして、ご承認いただきまして誠に有難うございます。改めましてお礼申し上げます。

皆様と例会でお会いするのは2週間ぶりですが、元気な顔を拝見できましたこと大変うれしく思います。

本日はクラブ創立記念アクト合同例会です。当クラブは1958年昭和33年5月28日23名の創立会員でスタートし、同年8月18日国際ロータリーより加盟承認を受け、釧路の街に2番目のロータリークラブとして誕生し、その日を当クラブの創立記念日とした事は、皆様の知るところでございます。

最近合同事務所に行く機会が多くなりまして、事務所に保存してある北クラブの周年史を見ておりました。10年史には、例会日を火曜日に定めた事や創立当時の平均年齢は39歳だった事など勉強になる事が色々書かれておりました。20年史では地区内上位ランクの80余名のクラブに成長したと言う事と、更なる30年40年に向け力まずよく前進していきたいと記されております。30年史におきましては会員総数97名平均年齢52歳、平均年齢が上がるのは当然のことで御座います。30年と言う歳月が流れたわけですから・・・もう一つの変化は23名でスタートした会員も8名しか残っていないという事です。40年史では私が入会した翌年ですが会員総数は100名を越しております。このころを期に毎年毎年会員が減少していくわけですが、現在66名平均年齢56歳でございます。7、8分区分15クラブ中ナンバー2の大クラブです。これもひとえに北クラブの歴史と伝統を築きあげた先輩の皆様にはほかならないと私は思います。そして何よりも先輩の思い教えをきちっと受け継いでいる現在の会員の皆様がいるからこそ会員減少の中でもナンバー2でいられるのではないのでしょうか。

本日は会員ナンバー1番の能登パスト会長、ナンバー3の高橋 邦弘パスト会長、ナンバー4の小松パスト会長の皆様に限られた時間ではありますが、当時のお話をお聞かせいただけたら幸いです。

又会員の皆様も合同事務所に行く機会があればご覧になってみてください。持ち出しは厳禁です。

### ◆幹事報告

1. 8月15日(金曜日) 栄町平和公園平和モニュメント前で行われました、戦没者慰霊・追悼式に会長・幹事で参加してまいりました。
2. 8月18日(月曜日) メーキャップスタンプラリーにさきがけまして、西クラブに講演依頼を受けた当クラブの平井委員長長の応援を兼ねまして、会長はじめ、田村会員、北川会員、中嶋会員、石井会員・伊賀会員、田野・多田両副幹事と私の9名で参加してまいりました。
3. 昨日、19日(火曜日) もベイクラブさんのローターアクト・インターアクトの合同例会に会長はじめ平井委員長・田野・多田両副幹事と私の5名で参加してまいりました。
4. 国際ロータリー第2500地区ローターアクトより10月開催の第21回地区協議会及びスポーツ交流会の案内を回覧させて頂いております。
5. 厚岸ロータリークラブ・浜中RCより例会報告と例会案内が届いております。こちらも回覧致しております。
6. 公益財団法人「米山梅吉記念館」 渡辺理事長より秋季例祭の御案内そして寄付と賛助会入会の御案内が届いておりますので回覧致します。
7. 8月23・24日(土曜・日曜日)に全道中学親善硬式野球大会が釧路市民球場で開催されます、こちらは国際ロータリー第2500地区第7分区分が後援となっておりますので入場無料 応援・来場者はメーキャップ扱いとなり、メーキャップカードは理事室においてありますので多くの来場をお願いします。
8. 最後に今年度、帯広で10月10・11・12日に行われます地区大会のご案内をさせて頂きましたが、締め切りが今月25日までとなっておりますのでお忘れの方は宜しくお願い致します。こちらも回覧させて頂いておりますのでご協力宜しくお願い致します。

# 新入会員紹介

(再入会)



佐賀 護 君  
さが まもる

有限会社 護晃測量企画  
代表取締役社長

2000 ~ 2002 在籍



## クラブ創立記念アクト合同例会

2007 ~ 2008 北川健二第 50 代会長  
2011 ~ 2012 能登信孝第 54 代会長  
2014 ~ 2015 萩原昭博第 57 代会長  
2006 ~ 2007 千田 清第 49 代会長  
2009 ~ 2010 中嶋嘉昭第 52 代会長  
2012 ~ 2013 高橋 貢第 55 代会長



2000 ~ 2001 小松亮次第 43 代会長  
2003 ~ 2004 高橋邦弘第 46 代会長  
2005 ~ 2006 穂積由蔵第 48 代会長  
1998 ~ 1999 松原久幸第 41 代会長  
2002 ~ 2003 田村憲一郎第 45 代会長  
2004 ~ 2005 足立功一第 47 代会長



2011～2012  
能登信孝第54代会長

### 創立記念例会

今日はクラブ創立記念例会なので入会当時のことを話してほしいとのことですので、人前で話すことが苦手な佐賀私ですが話をさせていただきます。私が入会したのは昭和57年6月ですのでクラブ創立が昭和33年8月ですから24年過ぎておりました。入会したときにはチャーターメンバーが11名在籍しておりましたので在籍メンバーの話を少ししたいと思います。

北クラブ初代会長で米内印刷の米内富久司さん、2代会長で敷島商会の小笠原進さん、釧路信用組合の理事長をしていました、昭和63年息子さんが入会と同時に退会されました。4代会長で釧根食糧の曾宇昇進さんです、第一高校にインターアクトクラブ、釧路北ロータリーアクトクラブ、浜中ロータリークラブ、釧路西ロータリークラブなど創立するなど世間ではロータリー馬鹿と云われるほど熱心に活躍された方です、平成2年私が幹事のときに亡くなられ枕もとにお参りしたのが最初で最後でした。5代会長で北大通り7丁目で薬局をしていた米沢豊市さんです、趣味として薬師のペンネームで川柳を釧路新聞によく投稿していました。またプログラムで穴があくと、よく川柳をいれながら面白く話されていました。8代会長で北大通り7丁目で布団店をしていた国松祥三さんですが私が入会してまもなく退会されました。12代会長で道東トラックの丹葉泰三ですが私が幹事の平成3年なくなりました。15代会長でトヨタカローラ釧路の高橋修二さんです、釧路クラブに26才で入会し当クラブ設立と共に移籍されました、高橋さんはタバコのしんせいを吸いながら前の席に座っていたので私は近寄りたくも同じ席に座った記憶はありません、またいつも炉辺会合、今の家庭集会に欠席された方を集めて自分の家で炉辺会合をさせていました、入院されていたのにもかかわらずクラブ新年会出てこれ、二次会には好きな日本酒飲んでいました。ロータリーにはきびしい人でしたが、ロータリー好きなんだと感じました。昭和3年9月に亡くなり享年64歳でした。他に小児科の鈴木栄先生、三宅金物ガラスの三宅誠さん、足立ガバナーのお父さんの足立功さんです。クラブ例会に出席されていたのは高橋さんと、平成10年大会するまで出席100%の米沢さんです、他の方は例会場見かけた記憶がありませんが炉辺会合には出席されていました。昭和11年に32才で釧路ロータリークラブを創立し釧路北ロータリークラブを創立するのに自ら移籍してきた両角パストガバナーです。私は両角さんとは一度だけお会いしたことがあります昭和58年旭川で開催された地区大会に両角さんも出席され、前の晩の二次会に夫人と主に来られ私が副幹事だったので接待をする役目だったので隣に座っていました。会長さん一度でいいからクラブの例会に出席をお願いしたら、もう15年前から出席免除会員になり例会に主席していないし、おれが出席したらクラブに迷惑をかけるので若いものに任したほうよい言っていました。奥様と話すときは二人でペラペラの英語で話をしていました。家庭でも英語で話されるいるんですかと聞きましたら歳だからたまに話さないと忘れるからと言っていました。両角さんは昭和62年11月享年84歳で亡くなられました。

北クラブの創立20周年記念誌に両角パストガバナーの1975年(昭和50年)10月26日の釧路でのロータリーアクトの年次大会での記念講演が載っていましたので、その記事の一部引用したいと思います。講演ではサービスについて述べておられます。

日本語の「奉仕」という文字から受けとられる意味は何かしら静かで、静的で理念的であって、行動的アクションが伴わない感じがするのであります。

これに対し英語のサービスには普通にいう(a)奉仕の意味と(b)勤務更には(c)尽力・助力とか(d)給仕・供給と云ったように大別して四つの内容がふくんでおります。

従いまして、本日はこの積極的な能動的なアクションを伴う奉仕即ちサービスについて考えて見たいと思うのであります。

ロータリーは諸君がすでにご存知のように「奉仕の理想」を目標掲げ、又「超我の奉仕」の標語をもって呼びかけています。その意味するところは、自分のことよりはまず相手のことを考えて、他人のために自己を献げようと誓い合うのです。自分のことは二の次にしようということですから、この考え方は見方によっては人間性の革命ではないかとも云い得るのですがよくよく味わってみますと、そうすることが或る意味での自己満足に繋がるということが理解できるのであります。

即ち私達ひとりひとりが、等しく自分の胸に持っている自分の良心を完全に利用して、この良心を満足させる境地であり、これこそ真のよろこびの境地なのでございまして、云いかえれば人間らしく生きて行こうということでもありますと述べております。

ローターアクトについては、国際ロータリーの声明よりつぎのように話されております。ローターアクトの目的は、地域社会に対する奉仕を通して指導力と市民としての責任感を育成し、国際理解と平和の大儀を推進し、そして高い道徳的水準を自覚し決意することが指導者たる要件であり職業上の責務であるとしてこれを促進助長するにある。と述べております。

講演の最後にアーサー・シェルダンの言葉を引用して終わりにしています。「人間が他人に分ち与えてきたものこそ、その人生の終わりにあつて持てるすべてである。それまで汝が人々の為の分ち与えしもの、即ち奉仕であり、それ以上の何物でもなく、それ以下の何物でもない。と信じるのであります。これで終わらせていただきます。



2003～2004  
高橋邦弘第46代会長

私の入会当時は、今のクラブの雰囲気とは全く違っていました。とても緊張した雰囲気の中で例会が進められおり、嫌で嫌で今週辞めようか、来週辞めようかと、いつ辞めるかばかり考えてました。当時は、仕事も非常に忙しく、現場に出ることも多く、ホコリまみれで作業服で仕事をしていましたので、作業服や手に塗料がつき現場から直接、例会に行く訳にも行かず、例会出席のために、仕事を中断し用意をして着替えて例会へ出席していました。当時は、作業のままで出席できるような雰囲気では無く、声を掛けられたら何を話そうかと、ビクビクしながら食事も喉を通らなかつたと記憶しております。

その中でも、坂本医院の坂本先生は、口数は少なかったですが、威厳にみちておりました。ある時、稚内で地区大会があり、みんなでバスに乗り移動しました。当時10時間位掛かりました。帰るときトイレに寄った際に、坂本会長がバスに戻ってないうちに出発してしまい、数分後気がつき、引き返して坂本会長を乗せましたが、坂本会長は無言で無然として乗り込んできました。その時のバスの車内の雰囲気は、想像を絶するピリピリしたものでした。当時の私は、仕事も忙しく、なかなか例会に出席出来ず出席不良会員でした。1ヶ月休むと退会勧告されるようになっていましたので、私のスポンサーの山口さんが、迎えに来てくれましたので、何とか退会勧告されないで済み、本日に繋がっています。

ピリピリした雰囲気の中、突然「高橋君、23-34について、どう思う」と聞かれたりしてビックリして飛び上がっていました。

30年以上経過した現在は、和気藹々で親しみやすい例会雰囲気となっています。これも時代の流れに乗って、若い人もロータリクラブを楽しんでいますし、とても良いと思っています。私が辞めなかつたのは、私は職人で凄く狭い世界に生きていましたので、他に人との交流は無かつたので、ロータリクラブに入会させていただいて、人脈を広げる事が出来ました。職業が文字を書いてお金をいただく商売ですが、文章が書けませんでした。当時は、文章が書けなかつたので、一番苦勞したのが会報委員会でした。会報委員会を3回ほど続けてさせていただき、大変勉強になりました。当時は週報でしたので水曜日の例会終了後、急いで例会内容のテープを文章に起こし、金曜日の午後には米内印刷に渡さないとならないという事で大変な作業でした。テープお越しは、テープをそのまま一字一句を文字にしても、文章にはなりません。テープを有る程度聞いて自分で内容を理解して文章を起こしていくという作業が非常に勉強になりました。

私も、あと何年元気で居られるか解りませんが、ここにいる限り、ロータリーの雰囲気を味わって活きたいと思っております。ありがとうございました。



ローターアクトクラブ  
2007～2008  
小林美保第37代会長

ただ今ご紹介に預かりました、釧路北ローターアクトクラブOGの小林美徳と申します。これからお話をさせていただくにあたりましてまず、釧路北RC様が創立56周年を迎えられました事を心からお祝い申し上げます。

親クラブである釧路北RC様の56年という歴史の中で暖かな支えをいただき、釧路北RACは今年で43年目を迎えます。

その中の約10年間である平成13年10月～平成23年6月まで、私はRACに所属させていただいておりました

今日は、その経験の中で『どんな考え方、目標を持って活動していたのか』『卒業してからやり残した活動、行事、やってみたかった活動、行事』について少しお話をさせていただきます。

まず、『どんな考え方や目標を持って活動していたのか』という事です

10年間のアクト活動の中で、考え方や目標は常に変わっていきました。

大きく分けて、私には3つの時期がありました。

まず、当初は釧路公立大学の3年生だったので就職活動で将来の仕事を決めるにあたって色々な職業の社会人の方の話が聞きたいと思って入会しました。

思った通り学生生活では関わることのできない人たちとの交流で考え方や視野も広がり、何より人とのコミュニケーション能力が抜群に上がりました。

社会人になってからは、家族の様に信頼のおける仲間と交流する事で仕事の息抜きが半分。残りの半分は、新人の社会人では味わえない立場で組織を動かす事にやりがいを感じていました。

一番記憶に残っている経験は、平成16年に帯広で行われた全国ローターアクト研修会のホストを務めた事です。

100人を超える全国のゲストを受け入れる立場で、移動班のリーダーという重要な役割を任された事がとてもやりがいを感じました。

その経験をきっかけとして、地区幹事ははじめ色々な役職を経験しましたが会長という役職に就いてから、初めてアクトの活動で壁にぶつかりました。

自信の無さから、他人の意見に左右されてばかりの日々でした。

それがアダとなり、組織としての目標を見失いかけてたりと本当に苦しい時期でした。

やっと周りが見えて余裕が持てたのは、年度が半年過ぎて次年度の会長が決まった頃です。

その時、孤独だと感じていた会長職が本当は自分一人ではなく沢山の仲間に支えられていた事に気が付く事ができました。

アクトの良さは人それぞれ感じる所は違うと思いますが、

『利害関係の無い人間が集まっているという事。』

『失敗を恐れずに経験する事ができる組織であるという事。』

『自分自身の考え方や視野が本当に広がる事。』

今振り返るとこの3つが、私にとって良い経験に繋がりました。

ちょっとまじめなモードになりましたが、次に『卒業してからやり残した活動、行事、やってみたかった活動、行事』についてお話をさせていただきます。

正直、卒業してからやり残した事は一つもありません。何せ、10年も居ましたから！

ただ卒業してから、アイデアを実行するのも人を動かすのも本当に簡単な事ではないと気が付きました。その時初めて、アクターじゃないという事に悔しさを感じました。

最後になりますが・・・10年間アクターとして活動をしていく中で、私は自分の可能性を信じて会社員から司会者という職業への転職を決めました。

ローターアクトに所属していなければ、そんな考え方は100%生まれて来なかったと思っています。私の真似をしるとは言いませんが、現役で活動しているアクターにはできる限り色々な経験をして欲しいと思います。その経験や人との出会いが糧となり、仕事や人生において必ず役に立つ日が来ます！30歳までという限られた時間の中で、思いっきり活動して下さい。これからも、OGとして陰ながら応援しています。

以上で私の経験を踏まえたお話を終わらせていただきます。

ご清聴いただき、誠にありがとうございました。



2000～2001  
小松亮次 第43代会長

皆様、こんばんは。小松でございます。創立記念のスピーチをさせていただきます。

歴代の会長さんたちからお話があるように、昭和33年8月18日当クラブがR I加盟承認を得た日であります。この日を当クラブの創立記念日としております。

本日は、クラブ創立56周年を迎える意義深い日であります。

萩原会長さんから記念日に相応した話をと御指名がありまして、ひき受けた次第です。

創立56周年を迎えました我北クラブ会員共々お慶び申し上げますと共に記念日にあたり北ローターアクトクラブと合同例会でスピーチが出来ます事誠に光栄に存じます。

R I創立記念日は、ロータリーの発祥から理念哲学に至るまで毎年会長経験者によるスピーチが行われて来ております。先輩の話聞き、そして学習する事が、大事な事と思っております。

皆さんの期待に答える自信がありませんが、会長の命令に従わざるえない心境であります。私は創立会員ではありませんので当時の事柄については、先輩の方からお話を聞く程度で私の入会後の思い出話などを主体にお話をしたいと思います。

私は、トヨタカローラ高橋脩二さん米内印刷米内禎一さんスポンサーに依り49年5月23日当クラブに入会をさせて頂きました。例会場はオリエンタルホテルが会場でした。会長は、26代市川美善さん、幹事斉藤邦彦さんでした。当時私と一緒に入会したのは、好尾継男君国光勝広君と私と三人一緒に入会して居ります。

クラブのメンバーは蒼々たる方々でした。当時は、テリトリーが決まっておりました。先輩には寄りつけない雰囲気でした。

入会して第三週めの例会におっくうで休みました。

四週めの月曜日にスポンサーの高橋さんから電話があり先週の例会をどうしましたか？と云われ休みました。これから西RCに行きますので、一緒に訪問しましょうとさそわれ初めてメイクアップをさせて頂きました。帰りがけ例会を休んだら他のクラブにメイクアップしなさいといろいろな話を受けました。今は入会前のオリエンテーションがありますので、有る程度の理解をして頂いていると思います。

私も当時、他のクラブにメーキャップ行くより、自分のクラブを一生懸命出席しようと思いホームクラブを10年間出席させて頂きました。

これは、私のロータリー歴の中で誇れる事ではないかと思っております。

これからも、宜しく願いいたします。